

CAPS研究会・講演会

台湾情勢と日台関係

経済研究所では、日本台湾交流協会台北事務所代表の片山和之氏をお招きし、台湾情勢と日台関係についてご講演いただくこととなりました。片山氏は長年にわたり外務省でアジア外交を担当し、台湾、中国、東南アジアに関する実務と政策形成に深く関わってこられました。現職では、台北における日本の窓口機関の代表として、政治・経済・文化交流の最前線で日台関係の強化に尽力されています。本講演では、台湾情勢の最新動向に加え、日台関係の現状と今後の展望について、実務経験に基づく貴重な視点からお話しいたします。

日時：6月8日（月）午前10：30～12：00

場所：経済研究所本館409第一共同研究室

講演：「台湾情勢と日台関係」

講師：片山和之（日本台湾交流協会台北事務所代表）

講師略歴

1983年、外務省入省。国内外のポストを歴任、ペルー国駐劄特命全権大使を経て、外務省を退職。2023年11月より日本台湾交流協会台北事務所代表。

定員 30名

※参加をご希望の方は事務局（38caps_studygroup@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp）までメールにてお申し込みください。

定員に達し次第、締め切らせていただきます。

主催：京都大学経済研究所先端政策分析研究センター（CAPS）



KIER 京都大学経済研究所
Kyoto Institute of Economic Research



先端政策分析研究センター